

所 管	教育委員会事務局文化課		
担 当	安藤	問い合わせ	0573-26-2153
所 管	中山道広重美術館		
担 当	中垣	問い合わせ	0573-20-0522

報 道 機 関 各位

中山道広重美術館・日本美術技術博物館マンガ共同企画展 「マテウシュ・コウエク さまよう街」の開催について

中山道広重美術館と日本美術技術博物館マンガ（以下、マンガ館）は、令和6年3月に友好協力協定を締結し、現地視察や情報交換を図るなど交流を深めてきました。今回、両館初の共同企画展としてポーランド共和国クラクフ市を拠点に活躍するアーティストであるマテウシュ・コウエク氏の企画展を開催する他、当館の企画展「三代豊国と国芳の謎解き！木曾街道」を同時開催します。また、マテウシュ・コウエク氏のイベントに併せ、カタジナ・ノヴァク マンガ館長も来訪され、同氏のイベントに出席予定です。

広く周知いただくとともに、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

記

1. 会 期 令和7年6月19日（木曜日）から8月24日（日曜日）
2. 場 所 中山道広重美術館 展示室2
3. 内 容 中山道広重美術館とマンガ館（ポーランド共和国クラクフ市）との初の共同事業として、同市を拠点に活躍するアーティスト、マテウシュ・コウエク（Mateusz Kołek）氏の世界初公開の作品2点を含む30点を出品します。
4. 主 催 恵那市、恵那市教育委員会、（公財）中山道広重美術館、日本美術技術博物館マンガ
5. 協 力 ポーランド広報文化センター、ポーランド投資・貿易庁



※本展は、マンガ館における「インスピレーションを与える文化 2025/2026」プログラムの一環としてポーランド共和国文化・国家遺産省より助成金を受け実施されるものです

6. 料 金 一般 520 円 (20 人以上の団体は 440 円)

※同時開催の企画展と共通

※18 歳以下無料

※障がい者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）をお持ちの方と付き添いの方 1 人は無料

※毎週水曜日はフリーウエズデー、毎週金曜日はフリーフライデーで共に終日観覧無料

※毎月第 1 日曜日は「市民の日」で恵那市民に限り観覧無料

※8 月 14 日(木曜日)は恵那納涼夏祭りにあわせ終日観覧無料

7. 本展の見どころ

(1) マンガ館との初の共同企画展

ポーランド共和国クラクフ市にあるマンガ館は、日本の文化・芸術を伝える国立機関です。中山道広重美術館は、マンガ館と令和 6 年 3 月に友好協力協定を結びました。

(2) 本展のため描き下ろした世界初公開の 2 点を含む作品を紹介

コウエク氏は、アジア・ヨーロッパを問わず多様な芸術を学ぶ中で、特に浮世絵からの影響を強く受けたとされています。明瞭な描線や、臨場感あふれる構図、抒情性豊かな風景描写には、広重作品との関連性がうかがえます。コウエク氏は広重の表現手法を巧みに取り入れながら、独自のスタイルへと昇華させています。

(3) マテウシュ・コウエク氏来日！作家本人によるイベントを開催

・アーティストトーク ※日本語通訳あり

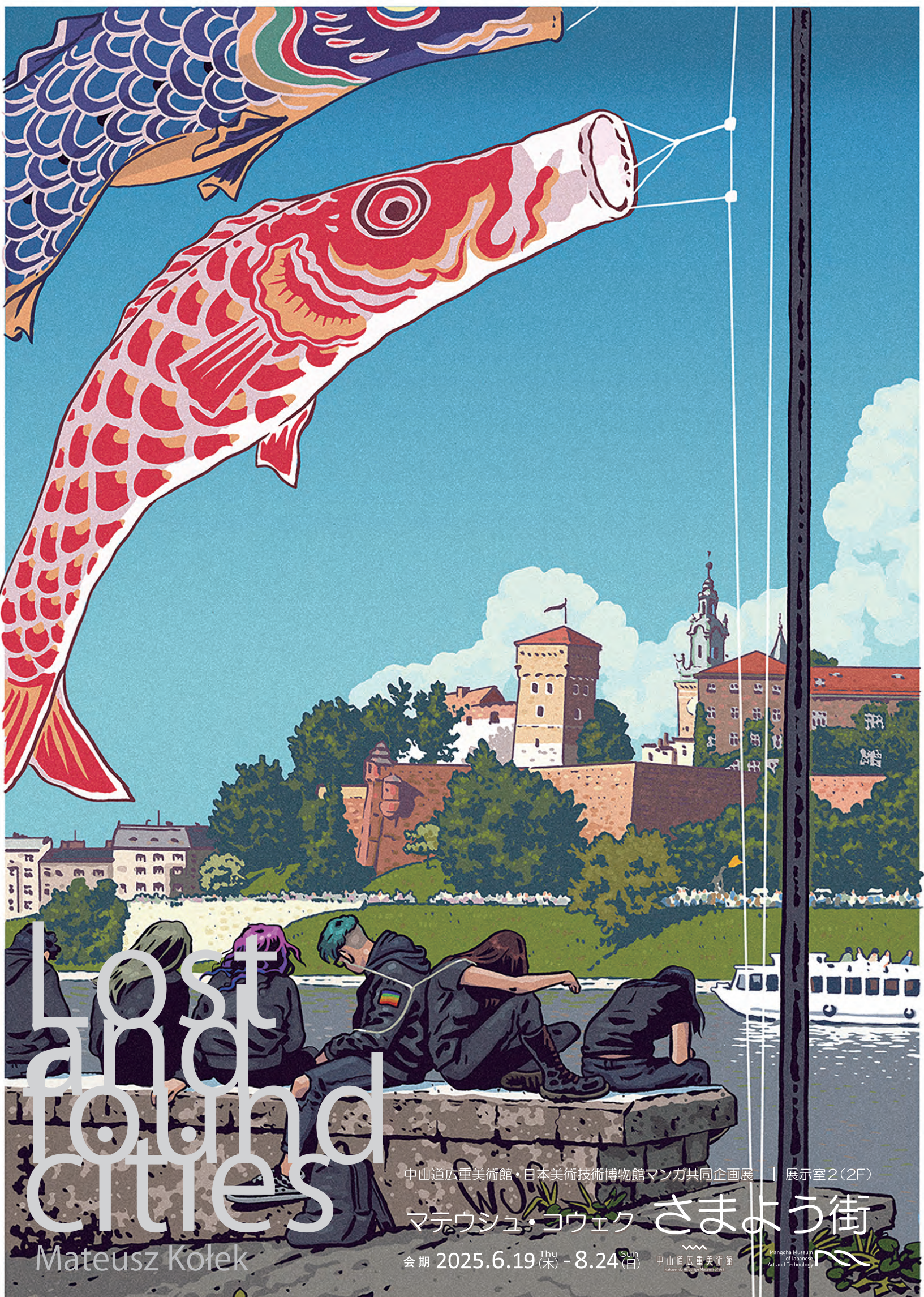
日 時：8 月 10 日（日曜日）午後 1 時半から 60 分程度

・ドローイングワークショップ ※日本語通訳あり

日 時：8 月 11 日（月曜日・祝日）午後 1 時半から 90 分程度

定 員：12 名 小学 4 年生以上

※6 月 19 日（木曜日）から電話で参加予約を受け付け、定員に達し次第締め切ります



Lost and found cities

Mateusz Kólek

中山道広重美術館・日本美術技術博物館マンガ共同企画展 | 展示室2(2F)

マテウシュ・コウエク さまよう街

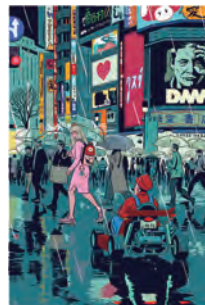
会期 2025.6.19 (Thu) - 8.24 (Sun)

中山道広重美術館
Nagasaki Museum of Art and Technology

Manga Museum
of Japanese
Art and Technology

Lost
and
found
cities

Mateusz Kołek

左) Mateusz Kołek *Cat shop*, 2022, ink, digital color, 70×100cm中) Mateusz Kołek *Shibuya*, 2021, ink, digital color, 100×70cm右) Mateusz Kołek *Shinjuku broken heart*, 2022, ink, digital color, 100×70cm

中山道広重美術館は、2024年3月に日本美術技術博物館マンガ（ポーランド共和国クラクフ市）と友好協力協定を締結しました。この度、初の共同企画展として、クラクフ市を拠点に活躍するアーティスト、マテウシュ・コウェク（Mateusz Kołek）氏の作品を展示いたします。コウェク氏は、浮世絵に見られる明瞭な描線や広重作品の構図及び風景描写を巧みに取り入れつつ、それらを自身の独自のスタイルへと昇華させています。クラクフ市と東京の風景をテーマとし、時代や場所が交錯する独特の世界観で描かれた作品30点をお楽しみください。

Nakasendo Hiroshige Museum of Art x Manggha Museum of Japanese Art and Technology

中山道広重美術館・日本美術技術博物館マンガ共同企画展 | 展示室2(2F)

マテウシュ・コウェク **さまよう街**

会期 2025.
6.19^{Thu} (木)
|
8.24^{Sun} (日)

同時開催 中山道広重美術館企画展 三代豊国&国芳の 謎解き! 木曾街道 | 展示室1(1F)

【関連イベント】

- アーティストトーク ※通訳付
日時: 8.10(日) 午後1時30分～60分程度
場所: 展示室2(2F)
- ドローイングワークショップ ※通訳付
日時: 8.11(月・祝) 午後1時30分～90分程度
場所: 講座室(3F) 定員: 12名
※6.19(木)からお電話で参加予約を受け付けます。
(定員に達し次第締め切り)
- ミュージアムナイト★8.14(木)は午後8時まで開館
※この日に限り終日観覧無料(入館は午後7時30分まで)

左) Mateusz Kołek *Pilsudski Bridge*, 2021, ink, digital color, 70×100cm右) Mateusz Kołek *Jubililat*, 2021, ink, digital color, 100×70cm右下) Mateusz Kołek *Kids*, 2024, ink, digital color, 100×70cm

Kraków



マテウシュ・コウェク (Mateusz Kołek)

1981年生まれ。ポーランド共和国クラクフ市を拠点に活動。サイケデリックで遊び心にあふれた作風は、過去に何度も足を運んだアジア諸国で触れたその土地の芸術や風土、また旧ソビエト連邦のSF映画やポップカルチャー、スラブ神話から多大な影響を受けている。新聞社、出版社、ファッション企業、飲料メーカーなど、さまざまな企業とのコラボレーションを手掛ける。

Photo by Michał Lichtaski



観覧料 一般520円(20名以上の団体は420円) ▲18歳以下無料、障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。

※同時開催企画展「三代豊国&国芳の 謎解き! 木曾街道」(展示室1(1F))と共通

開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日(ただし7.21、8.11は除く)、8.12(火)、7.22(火)～24(木)は展示替えのため休館。

主催 恵那市、恵那市教育委員会、(公財)中山道広重美術館、日本美術技術博物館マンガ

協力 ポーランド広報文化センター、ポーランド投資・貿易庁

※本展は、「インスピレーションを与える文化2025/2026」プログラムの一環としてポーランド共和国文化・国家遺産省より助成金を受け実施されるものです。

中山道広重美術館

〒509-7201 岐阜県恵那市大井町176-1

TEL (0573) 20-0522 FAX (0573) 25-0322 HP <https://hiroshige-ena.jp>

*JR中央線恵那駅から直進徒歩約5分 *中央自動車道恵那インターから約5分

美術館ホームページ



【中山道広重美術館スポンサー制度協賛企業】

- 毎週水曜日は観覧無料、フリーウエズデー
(スポンサー) (株) エナ重機、ナカヤマ・グループ、(株) デジタ
- 毎週金曜日は観覧無料、フリーライダー
(スポンサー) (株) 銀の森コーポレーション、カネコグループ
(カネコ・楽園住宅・木KeyPoint)、(株) サラダコスモ、ちこり村